

キャプテンストライダム

渋谷 ワンマンライブ直撃レポート！

渋谷公会堂ワンマンライブ 『BIG BAN』
'07/03/18@渋谷公会堂（渋谷C.C.Lemonホール）



こ、こいつら本気だ…本気で観客と一緒に射精する気だ！

キャプストが渋谷でワンマンなのだ。最近は何号のように（散々）取り上げてきたし、何度もワンマンについて話を訊いてきた。記憶に新しい112号（2007年3月1日号）で永友は「最後は射精するくらい勢いで壊れたい」とまで言い放ち、成功を祈願してメンバー3人によるゴチバトルも行った（敗者は射精宣言した永友：25,800円自腹）。当然、ワンマンライブ当日の様相をレポートしないわけにはいかないのである。

渋谷公会堂。実は永友がサラリーマンを辞めてバンドをやるかどうかグダグダとしていた頃、彼はこの場所で開催民生のライブを目にしているのだ。ニートですらない当時の自分を叱咤するきっかけになったと後に述べている。客席で開演を待つ間、ただのインタビュアーとアーティストという関係より幾分濃くなっている立場の僕はひとりそんなことを思いついていた。遂にキャプストが渋谷で演るのか、言い出したときはびっくりウンだと思っていたのに。

髪をかき乱した菊住が繰り出す重いドラム、涼しい顔してゆるゆる揺れながらベースを弾きまくる梅田、既にテンションが振り切れている模様の新友が掻きむしる香ばしいギターの色。「クリーンタウン」で遂に、遂にキャプストの渋谷公会堂ワンマンライブが幕を開けた。座り心地の良いシートに後ろ髪を引かれながら、全員起立である。

渋谷の大きな空間はキャプストの熱いバンドサウンドを快く受け入れた。音が気持ちよく循環し、ステージの3人がカリスマ性を帯びた（ように見えるがおそらく気のせいだろう）。「サイボーグ」のトルクがたいエンジンのようなリズムで感情を掻き回し、「フランクフルト」の大きすぎるブリックでロックの醍醐味を痛感させる。横だけではなくおそらく会場に居た全員が、

それぞれの「私とキャプスト」を味わいながらライブを観戦したに違いない。念のために言うが観衆ではない、観戦である。

序盤で骨太いバンド感を存分に喰らわせ、そして「悲しみのシミかな」で傾かせ「アナグマ」で落ち着かせたと思ったら「ペラペラ」「キミトペ」で何度もテンブルをぶん殴る。永友は「B・A・N・バーン！」とYMCAよろしく観客にフリを強要してし…こ、こいつら本気や。本気で観客まで一緒に射精させる気や！

あの感動的なイントロをCDよりも長めに展開して始まった「恋するフレミング」。大きな会場をイメージして作ったスタジアム・ロックは渋谷で映える。そして哀愁感漂うギターが胸を焦がす「ケムリマン」では演出のケムリマシンが登場し、会場全体を煙に巻く。幻想的な雰囲気のまま「流星オールナイト」へ。ライブやアルバムのようなストーリーのある流れで唄らされたこの曲は抜群に響く。

訳のわからないメンバー紹介風のOMCを挟み、ライブは後半戦へと突入する。個人的な特筆ポイントには「GOOD HARVEST」。キャプストが元来持つ土着的濃厚（農耕）グルーヴを更に洗練（野生化）させたこの日のライブアレンジは激シブ！こんな曲でこんなライブ演るバンド居ねえよ！次！キラー・ナンバー「LONE STAR」！プレイのひとつとつがカッコイイ！強烈なリフが耳から離れない！永友マキック持ってギター捨てて走れ！ワタクシ、当日の興奮を思い出して冷静になって書かなくなってきました！

曲が終わった直後、永友が言った一言が何よりも印象的だった。「歩みの遅いバンドですが、こんな日は続けて良かったなと思います」（※）。そしてその流れで唄らされた「長い坂の登る途中」でしみじみと本編は終了する。

アンコールは昨年9月のEAGLE NIGHTや今

年2月広島での「仁義なきおぼけナイター」で共演したアクセルプラスのホーン3管を交えて3曲披露。特に最後、「マウンテン・ア・ゴゴゴ」（メジャーデビュー盤の「ツウ」ではなく、インディーズ盤に収録されてる方）ではマジで涙が出た。インディーズの頃から彼らを知っていたということもあるが、最後の最後に個人的な「私とキャプスト」が走馬燈のように目に浮かび、涙がダラダラと止まらなかった。

…と、確かに感動的なライブではあったが、彼らが唄うようにあくまでここは「長い坂の登る途中」なのだ。キャプストの旅はまだまだ始まったばかりなのである。

※ちなみに、この時に永友が涙を流していたという噂がファンの間でまことしやかに囁かれているが、実際には泣いていなかったらしい。くだらない男である。さらに、ライブ終了時点で永友が射精していたかどうかはまだ本人に確認できていない。確認次第、誌面にて報告する。

TEXT：Takeshi.Yamanaka



ワンマンライブ成功祈願の願掛けで自ら禁止していたカレー（永友）、タバコ（梅田）、酒（菊住）を終演後ステージで解禁。